



三浦市議会だより

第 117 号
平成26年(2014年)11月1日
編集：議会だより編集委員会
発行：三浦市議会
〒238-0298
神奈川県三浦市城山町1番1号
☎ 046(882)1111内線462・463

第3回定例会

平成二十五年度決算を認定

三崎中学校体育館等に係る補正予算等を審議



2日間にわたり開催された議会報告会(右上:初声地区、右下:南下浦地区、左:三崎地区)

定例会の経過と概要

月日	曜日	会議名	内容
9月3日	水	本会議	会期の決定、一般質問
4日	木	本会議	一般質問
5日	金	本会議	一般質問、議案の審議(説明・委員会付託)
8日	月	総務経済常任委員会	議案・請願・陳情の審査
9日	火	都市厚生常任委員会	議案・陳情の審査
10日	水	本会議	議案の審議(説明・委員会付託)
		総務経済常任委員会	議案の審査
11日	木	決算審査特別委員会	議案の審査
12日	金		
16日	火		
17日	水		
18日	木	財政問題等特別委員会	三浦市の財政問題等に関する審査
19日	金		
25日	木	本会議	議案の審議(総務経済・都市厚生・決算審査の各委員長報告・修正案・討論・採決)、人事案件(教育委員会委員、公平委員会委員)、選挙管理委員・同補充員の選挙、閉会中継続審査申し出、議員派遣について、報告

平成二十六年第三回定例会は、九月三日から二十五日までを会期として開かれ、二十四議案を審議しました。

議会基本条例に基づき、今定例会では、一問一答方式による議案質疑が行われました。

また、十月十八日・十九日には、初めての議会報告会を開催し、議会基本条例制定後の議会改革の取り組みや平成二十五年度決算審査についての報告を行いました。

《議会だより第117号の内容》

定例会の経過と概要	1面
決算審査特別委員会	1～2面
常任委員会	2面
一般質問	3～6面
請願・陳情	6面
議会の活動から	6面
本会議における討論	7面
議会基本条例	7面
人事	8面
選挙	8面
風致地区条例の修正案	8面
次回定例会の予定	8面
議案等の審議結果	8面

決算審査特別委員会

議案の審査概要

平成二十五年度の一般会計、特別会計(国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、市場、公共下水道、第三セクター等改革推進債償還)及び企業会計(病院、水道)の決算議案は、七人の委員で構成する決算審査特別委員会に付託され、五日間にわたり審査されました。

決算審査特別委員会

委員長 石原正宣
副委員長 出口正雄
委員 石橋むつみ
寺田一樹
石川巧
草間道治
藤田昇

総括質疑 市政全般にわたり 市長に質疑

市の財政運営

質問 厳しい財政状況の中、経常経費の大幅な削減や補助金の見直しなどに取り組んだ平成二十五年度決算に対する市長の見解は。

答弁 第三セクター等改革推進債の償還が始まり非常に厳しい財政状況の中、当初予算に計上していた二町谷埋立地の売却収入が契約解除に伴って見込めなくなり、大変な事態となった場面もあった。

結果的には、財源の手当てができて赤字決算にならない措置をとり、何とかやりくりができた。

歳入の増加策

質問 ふるさと納税による増収効果が大きかったが、この感想を伺いたい。

答弁 三浦市の持っている記念品のポテンシャルの高さから支持を得たものと考えている。

また、記念品を提供いただいている事業者の皆さんとの協力、連携が図られていることも大きな要因と思われる。

企業誘致活動の状況

質問 市の最重要事項である二町谷埋立地への企業誘致について、二十五年度の成果を伺いたい。

答弁 借地により地元事業者の工場が進出したことは一つの動きだと考えている。土地の売却による進出ということでは、まだ結果が出ていないので、今後とも引き続き取り組みを進めたい。

一般会計

歳入

- ・市税の収入が増加した要因について
- ・財産売却収入の内訳について
- ・交付金の概要と実施事業について
- ・生活保護費に係る国庫負担金について

歳出

- 総務費
 - ・市の若手職員の参加による政策研究事業の取り組み状況について
 - ・ふるさと納税による市内産業の活性化について
- 民生費
 - ・民生委員・児童委員の充足状況と市のサポート体制について
 - ・生活保護費の支出状況について
 - ・児童虐待防止の取り組みについて
 - 衛生費
 - ・ごみダイエット大作戦によるごみの減量化の成果と今後の取り組みについて
 - ・がん検診の受診状況と受診勧奨について
 - ・健康教育の取り組みについて
 - 農林水産業費
 - ・有害鳥獣による被害への対応策について
 - ・三崎港のゲストパースの利活用について
 - ・二町谷地区の越波対策の進捗状況について

- 商工費
 - ・教育旅行の誘致について
 - ・フィルムコミッション推進事業の経済効果と今後の展望について
 - ・中小企業者への支援制度について
- 土木費
 - ・平成二十五年度中に発生した自然災害による事業への影響について
 - ・都市計画区域の線引き見直しについて
 - ・幹線道路の整備促進について

特別会計

- 災害復旧費
 - ・台風の際に学校林が倒壊し、民家に被害を与えた件について
 - 意見
 - ・今後も自然災害により市が損害を与える事例が想定されるため、賠償に係る事案の解決方法を検討してもらいたい。

国民健康保険事業

- ・国民健康保険の加入者が減少している要因について
- ・保険給付費の抑制に向けた取り組みについて
- ・特定健康診断の受診率向上の取り組みについて

後期高齢者医療事業

- ・保険料の軽減措置を受けている被保険者数の割合について
- 意見
 - ・本制度は、高齢者が増加するほど保険給付費が増加するという矛盾を抱えており、制度の根本的な議論をすべきであることから、本会計には賛成できない。

教育費

- ・教材、教具整備の予算減額に伴う影響について
- ・青少年指導員の活動内容と事業の見直しについて
- ・赤坂遺跡の施設指定地内への芝の植栽と管理について

意見

芝の植栽、管理業務は十分な管理を欠いていた。再発防止策の検討を求めたい。

市場事業

- ・貸し事務室の入室状況と空き室対策の考え方について
- ・自主財源による市場の経営について

公共下水道事業

- ・公共下水道への接続状況について
- ・下水道汚泥の収集運搬に係る経費について

第三セクター等改革推進債償還事業

- ・二町谷に進出した事業者からの土地貸付収入について
- 意見
 - ・二町谷で稼働している下水施設の稼働率を向上させることについて

企業会計

いる下水道施設のことも考え、さらに企業の進出が進むよう、誘致活動に注力してもらいたい。

病院事業

- ・平成二十五年度の経営状況について
- ・糖尿病疾病管理の取り組み状況について
- 意見
 - ・市立病院の患者の傾向として、三崎地区の住民が多数を占めている。他の地域からの受け入れについて、何らかの工夫が必要ではないか。

水道事業

- ・水道料金の近隣自治体との比較について
- ・老朽管更新の状況について

一般会計

- 石橋むつみ委員より、平成二十五年度は、子供の医療費助成制度の対象年齢の引き上げが行われなかったこと、小中学校

常任委員会

議案の審査概要

総務経済

- 三浦市市税条例の一部を改正する条例

本案は、法人市民税と軽自動車税の税率の変更等を行うものです。

意見

軽自動車税の税率を引き上げは市民負担が増すため、本案には賛成できない。

三浦市営住宅条例の一部を改正する条例

本案は、市営住宅の入居資格の規定を整備するものです。

(質疑は特にありませんでした)

○字の区域の変更について
本案は、換地計画の作

の就学援助制度は近隣他市との格差が大きいこと、また、道路の維持補修への適正な予算配分等に工夫・努力が必要であること等が反対の理由として述べられました。

後期高齢者医療事業

- 石橋むつみ委員より、後期高齢者医療制度は、七十五歳以上の高齢者を別枠の医療制度に囲い込むものであり、高齢者の負担増と給付削減に向かっている状況から、速やかに以前の老人保健制度に戻し、医療制度のあり方を検討すべきであることが反対の理由として述べられました。

針について

- 三浦市保育の実施に関する条例を廃止する条例

本案は、児童福祉法の面を第一に考えると、本案には賛成できない。

三浦市風致地区条例

本案は、風致地区内における建築物の建築、宅地の造成等の規制について規定するものです。

意見

県条例に定められていた規定が変更されることは納得できず、本案には賛成できない。

三浦市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例

本案は、同施設の位置等を変更するものです。

三浦市福祉会館条例を廃止する条例

本案は、同施設を廃止するものです。

(質疑の主な項目)
○財産の無償譲渡について
本案は、市の施設を区に無償譲渡するものです。

都市厚生

- 三浦市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

本案は、子ども・子育て支援法の施行に伴い、関連施設の運営基準を定めるものです。

意見

保育士の処遇や保育への影響が懸念されることから、本案には賛成できない。

三浦市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

本案は、児童福祉法の改正に伴い、家庭的保育

一般質問

質問と答弁の要旨

一般質問とは、市政全般にわたって報告や説明を求めたり、疑問をただすことをいいます。

今定例会では、十三人の議員が市政運営について市側の考えをただしました。



下町の駐車場対策

みうら夜市、危険ドラッグ
フォーラムみうら 寺田 一樹

多くの観光客が訪れる三崎下町地区の再整備は喫緊の課題だが、市の財政状況から、まずは駐車場や公衆トイレについての対策を求めたい。

回数が増える。みうら夜市は、夏の風物詩として欠かせないイベントに成長した。下町商店街の振興に役立つ、ネームバリューのあるイベントであり、年に一回だけではなく、定期的に開催することは考えられないか。

市長 城ヶ島の駐車場を有効に活用したいと考えているが、下町へ行くために城ヶ島駐車場を利用するという考え方はな

く、一体的な観光地として城ヶ島の駐車場が活用されることが望ましいと思う。縮小せざるを得なくなる。下町商店街の皆様を中心にイベントを展開し、市が広報のサポートをするという仕組みがベストではないかと思っている。

学校教育での指導

質問 近年、危険ドラッグに関連した事件、事故が後を絶たない。喫煙、飲酒、薬物の低年齢化が進んでいる。より早い段階での指導が必要だが、学校での指導について聞きたい。

回答 子供たちが危険から身を守るための知識や判断力を身につけられるよう、教育委員会としてサポートしていきたい。



三崎下町の駐車場

空き家対策

土砂災害対策、ハラルフード
みうら市政会 石川 巧

全国的に空き家の増加が問題となっている。空き家の安心・安全管理とともに、人口急減に対する定住促進策や地域経済活性化として、空き家バンクを推進すべきだと考えるが、導入の可能性をお伺いしたい。

市長 空き家バンクはさまざまな自治体が行っていることから、一定の成果が期待できると思う。三浦市に合った制度を研究していきたいが、まずは地元の不動産業界の

皆様にニーズや扱う範囲等を確認したい。

避難勧告 八月の全国的に集中豪雨による被害が広がっている。三浦市での土砂災害に関する避難勧告の発令は、三浦市に土砂災害警戒情報が発表され、かつ斜面の亀裂等、前兆現象が確認された場合となっているが、住民避難が求められることはないのか。

外国人観光客への対応 二〇二〇年東京オリンピックに向けて、外国人観光客をもてなす環境整備に努めてほしい。最近、三浦市内に来るイスラム圏のお客様がふえていくと聞く。イスラム教徒の食べることのできるハラールフードへの対応をお聞きしたい。

経済部長 三浦市の食料がハラールフードとして認定される可能性は多分にあるが、認証を受け、毎年更新するには高額な費用負担が想定される。市内の各事業者が、経営の見地からどのように考えるかが重要だと思う。

ヘリコプター墜落事故

原子力災害、増床計画
日本共産党 立本 眞須美

質問 昨年十二月に二町谷埋立地に米軍のヘリコプターが墜落した。この事故により行った土壌汚染の調査費用の全額を、南関東防衛局を通じて請求するとしていたが、全額支払われたのか。

政策部長 請求額は四十八万四千五百五十二円で、市が請求した全額を米軍側が負担する形になっている。請求は八月二十八日に行い、近日中に市のほうに入金されるものと理解

では、横須賀市で原子力艦船の事故が発生した場合、三浦市民は屋内退避となるが、その後の避難など、市単独での対応が可能なのか。三浦半島七十万人の安全対策をとる観点で、国・県に避難対策を求めるよう、吉田市長がイニシアチブを発揮して四市一町で取り組んでほしい。

市長 原子力災害の発生時、避難対象区域が広域となった場合には自治体での対応は困難である。

市長 一カ所は具体的な進捗がなく、もう一カ所は県の審査が継続している。いずれにしても、市の計画に基づいて事業者を選定しており、建設が前に進むよう事業者を見守りつつ調整を図りたい。



墜落事故現場(二町谷埋立地内)



市内の住宅地

自然災害への備え

地域の支え合い、防犯灯のLED化

公明党 藤田 昇

質問 土砂災害を防ぐためには、自助と共助の重要性などを広く周知し、市民の防災意識の向上を図ることが重要である。

崖地の多い三浦市でも、事前の備えや早目の避難など、市民への具体的な周知が必要だと考えるが、市長の考えは。

市長 土砂災害に関する防災情報は、リーフレットの配布や地域での防災講話、ホームページ等で周知をしてくれている。また、広報紙「三浦市

民」に時期に合った防災記事を掲載しているが、改めて土砂災害に備える視点で情報発信をしたい。

高齢者への支援

質問 ひとり暮らしや高齢者世帯、認知症高齢者が増加する今、地域における支え合いのネットワークの構築が求められる。三浦市でも、傾聴ボランティア、介護予防サポーターなど、地域の実情に合わせて、支え合いの体制づくりに取り組むことが必要ではないか。

保健福祉部長 三浦市の高齢化率は全国的にも高

く、支え合いの地域づくりには必要不可欠である。現段階で具体的な検討には至っていないが、今後、老人クラブなど既存の地域団体との意見交換を始めていきたい。

LED化の推進

質問 市内に四千五百十五本設置されている防犯灯をLED化すると、経費の削減や地球温暖化防止など、さまざまな効果が見込まれる。防犯灯のLED化事業を導入することを強く提案するが、市長の考えをお聞きしたい。

組んでいる。途中経過として、ごみの放置が減ったと聞いており、環境美化に効果があつたと考えられる。

適正な海岸利用を

有料道路、小網代の森

みうら市政会 出口 眞琴

質問 海岸でバーベキューを楽しむ来遊客が増加し、一部の心ない人がごみ等を放置するなどの問題が多く発生している。ことしから城ヶ島でバーベキュー利用者向けに、ごみの有料回収などを行う社会実験を実施しているが、効果を伺いたい。

経済部長 城ヶ島の白秋碑苑周辺において、神奈川県が民間事業者とともに、バーベキュー利用者のマナー向上と環境改善を目的に社会実験に取り

料引き下げの要望への主要な交通アクセスとしては横浜横須賀道路や三浦縦貫道路があるが、いまだに割高感がある料金設定となっている。観光振興の観点では、幹線道路の整備とともに、有料道路の料金引き下げも重要だと考えるが、市の取り組み状況は。

市長 三浦半島地域の行政、経済団体、議会によ

市長 三浦市として、防犯灯の維持管理について、リース方式などの手法の精査を進め、同時に、区長会との協議や地元事業者との情報共有を図り、早期に結論を出していきたい。



LED防犯灯

住民への説明を

市内の海水浴場、高齢者支援

出口 正雄

質問 三崎高等学校跡地の利活用方針が見直された。近隣住民にとっては環境が変わる可能性があり、重大関心事である。事業が決定してからの速やかな説明はもちろんだが、定期的な意見交換など、住民と行政の意思疎通が重要ではないか。

市長 住民のご理解というの是最も重要なことだと思ふ。今後、事業の進捗に合わせて、丁寧な住民説明を心がけたい。

市長 市内の海水浴場は、比較的ファミリー向けの海水浴場という特徴があるので、若者を多く誘致することも必要だと思ふ。海水浴場組合や企業と

他との差別化

質問 ことしの三浦半島地域の海水浴場では、海の家でのクラブ化などによる環境の悪化、条例での規制など、さまざまな議論が起こった。本市では、三浦海岸で「ロックの学園」が開催されたこともあり、常識的な規制をすれば共存は可能だと思ふ。他市との違いを明確にして方向性を決定してはどうか。

市長 市内の海水浴場は、比較的ファミリー向けの海水浴場という特徴があるので、若者を多く誘致することも必要だと思ふ。海水浴場組合や企業と

十分に検証しながら検討を進めたい。また、消防団とは良好な関係が保たれているので、広域化の実現後も連携を継承することが重要だと考える。

消防力の強化

歴史資料、高齢者の支援

日本共産党 石橋 むつみ

質問 三浦市で取り組んでいる消防の広域化は、人員の効率化などの利点が聞かれるが、本来は市民の命と財産を守る消防力を充実させるといことが原点である。

消防次長 広域化は将来の三浦市の安全・安心を確保する上で重要であると認識しており、今後は、メリット、デメリットを

資料は、行政が責任を持つて残すべきであり、史料を所有する市民には、市への提供や所有に関する登録などの働きかけが必要である。また、専門家の協力や市民協働が必要であり、そのためのスタッフの育成が大事だと思ふ。

協働して誘客に努め、海水浴客が快適に過ごせる安全な海水浴場をセールスポイントとして、他地域との差別化を図りたい。

質問 全国的に高齢化が進み、認知症の高齢者も増加している。行政としてGPS発信器や迷子札を利用するような対策を検討し、また地域との情報共有により声かけや市への通報がしやすいというまちづくり



三崎高等学校跡地

ができれば、高齢者自身も家族も安心すると思ふ。**保健福祉部長** 三浦市では、高齢者の見守り等を推進するための協定を市内の金融機関と締結している。県の徘徊高齢者SOSネットワークを活用しながら、認知症高齢者と家族が安心して暮らせるような支援をしたい。

市長 歴史資料の公的管理を行うために、市内に眠る史料の登録制度や、収集・保管の方法など、何とか善処できるようにこれからも頑張りたい。また、史料を集め、生かすために専門のスタッフや人材育成が必要なのは十分認識している。

市長 歴史資料の公的管理を行うために、市内に眠る史料の登録制度や、収集・保管の方法など、何とか善処できるようにこれからも頑張りたい。また、史料を集め、生かすために専門のスタッフや人材育成が必要なのは十分認識している。

質問 受け止める体制は高齢者やその家族から、先行きの不安、自身の体調や認知症への不安、介護の不安など、さまざまな悩みをお聞きする。そういった不安や悩みを受けとめ



地域包括支援センター（地域福祉センター内）

市財政の現状と課題

大型事業の実施、次期総合計画

みうら市政会 石原 正宣

厳しい環境を十分認識して取り組んでいきたい。

水道事業の方針決定には、もう少し時間をいただきたい。

【市長】 いただいた意見も踏まえて、基本構想の策定について判断をしたい。基本構想は、総合計画の基本となる長期の構想であり、議会等のご意見も慎重に賜りながら判断したい。

財政への影響

【質問】 平成二十五年度決算における実質公債費比率は一八・四％であり、これは三浦市が地方債許可団体になったことを示す数値である。

【質問】 多額の起債を要する大型事業は、実質公債費比率に大きく影響する。西南部の公共下水道事業は二百三十四億円の起債が見込まれ、実質公債費比率に影響を及ぼし、財政破綻の危険性が増すゆえ、凍結を判断すべきと考える。市長の見解は。

【質問】 急激な人口減少や少子化、高齢化の進展は本市の喫緊の課題である。三浦市において総合計画の基本構想がスタートしたのは平成十三年であり、これらの状況は大きく変化している。

【市長】 より正確に将来を見通し、行政運営を図る意味からも、新たな基本構想を策定すべきだと考えるが、市長の見解は。

【市長】 地方自治体にとって大変大きなことであり、今後のごみ処理の広域化や、さまざまな実施計画事業での償還財源など、全体を捉えて財政健全化に向けた慎重な財政運営を行う必要がある。

【市長】 ご指摘のような危険性は回避するよう努めたいと考えている。

【市長】 財政状況がさらに悪化していることは否めない。西南部地区公共下



三浦市役所

市長の著作でセールスを

小学校統廃合の考え方

フォーラムみうら 北川 年一

シティ・セールスに取り組んでいる。本を渡すと非常に興味深い

【質問】 市長は就任以来、トップセールスを精力的にこなしているが、市長の行政や政治にかける思い、市の紹介をまとめた本を出版してはどうか。

【市長】 三浦市の知名度を上げ、三浦市に住んでもらいたいという思いから

【質問】 多額の起債を要する大型事業は、実質公債費比率に大きく影響する。西南部の公共下水道事業は二百三十四億円の起債が見込まれ、実質公債費比率に影響を及ぼし、財政破綻の危険性が増すゆえ、凍結を判断すべきと考える。市長の見解は。

【市長】 より正確に将来を見通し、行政運営を図る意味からも、新たな基本構想を策定すべきだと考えるが、市長の見解は。

【市長】 ご指摘のような危険性は回避するよう努めたいと考えている。

【市長】 財政状況がさらに悪化していることは否めない。西南部地区公共下

【質問】 多額の起債を要する大型事業は、実質公債費比率に大きく影響する。西南部の公共下水道事業は二百三十四億円の起債が見込まれ、実質公債費比率に影響を及ぼし、財政破綻の危険性が増すゆえ、凍結を判断すべきと考える。市長の見解は。

【市長】 より正確に将来を見通し、行政運営を図る意味からも、新たな基本構想を策定すべきだと考えるが、市長の見解は。

【市長】 ご指摘のような危険性は回避するよう努めたいと考えている。

【市長】 財政状況がさらに悪化していることは否めない。西南部地区公共下

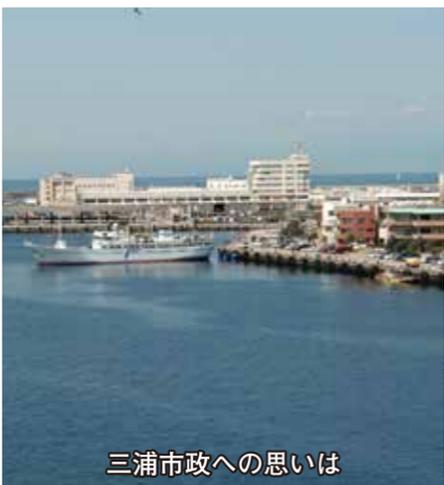
【質問】 多額の起債を要する大型事業は、実質公債費比率に大きく影響する。西南部の公共下水道事業は二百三十四億円の起債が見込まれ、実質公債費比率に影響を及ぼし、財政破綻の危険性が増すゆえ、凍結を判断すべきと考える。市長の見解は。

【市長】 より正確に将来を見通し、行政運営を図る意味からも、新たな基本構想を策定すべきだと考えるが、市長の見解は。

【市長】 ご指摘のような危険性は回避するよう努めたいと考えている。

【市長】 財政状況がさらに悪化していることは否めない。西南部地区公共下

【市長】 三浦市の知名度を上げ、三浦市に住んでもらいたいという思いから



三浦市政への思いは

避難所の設置運営

住宅リフォーム助成、特定健診

日本共産党 小林 直樹

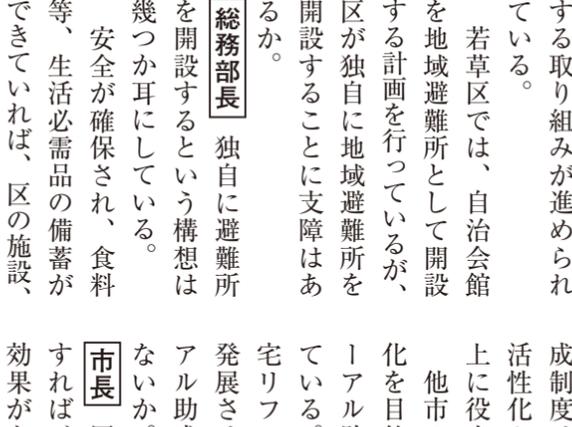
集会所などは十分に避難所として活用できると考えている。

【市長】 三浦市では災害時の避難所運営に関する取り組みが進められている。若草区では、自治会館を地域避難所として開設する計画を行っているが、区が独自に地域避難所を開設することに支障はあるか。

【総務部長】 独自に避難所を開設するという構想は幾つか耳にしている。安全が確保され、食料等、生活必需品の備蓄ができていれば、区の施設、

【質問】 現在、三浦市では災害時の避難所運営に関する取り組みが進められている。若草区では、自治会館を地域避難所として開設する計画を行っているが、区が独自に地域避難所を開設することに支障はあるか。

【市長】 同様の制度を創設すれば、多業種への経済効果があり、空き店舗の



避難所運営委員会の訓練風景

特区による規制緩和

ふるさと納税、みうら夜市

みうら市政会 神田 眞弓

三浦市独自の手法等を検討したい。

【質問】 神奈川県全域が国家戦略特区の指定地域となり、三浦市では特区活用チームが編成された。先日行われたトーク&トークで、古民家を使った宿泊施設ができるよう特区の中に位置づけられないかという発言があったが、活用チームには伝わっているか。

【市長】 このことは今後、活用チームの議論の俎上についてくると思う。本件に関連する旅館業法等の規制緩和については、

【質問】 現在、三浦市では災害時の避難所運営に関する取り組みが進められている。若草区では、自治会館を地域避難所として開設する計画を行っているが、区が独自に地域避難所を開設することに支障はあるか。

【市長】 同様の制度を創設すれば、多業種への経済効果があり、空き店舗の

★★寄附金3万円以上の方★★

以下の10品の記念品(送料別)の中から好きな品を選び、お申し込みください。

1-1 新鮮な野菜セット	2-2 めばち焼ブロック 1kg	2-3 特産品詰め合わせ(中トロ身肉セット)
2-4 特産品詰め合わせ(厚切り)	2-5 特産品詰め合わせ(三浦酒造の梅干)	2-6 特産品詰め合わせ(三浦酒造の梅干)

ふるさと納税の記念品 (市HPより)

観光都市づくり

『風致地区条例、市民協働』

フォーラムみうら 松原 敬司

「風致地区条例、市民協働」
フォーラムみうら 松原 敬司
イルしながら、観光都市三浦を構築することが重要だと思ふ。

質問 オリジナルな観光都市として、三浦市は観光を契機に、三浦市は観光都市として、どのように生まれ変わっていくのか。

三崎、城ヶ島、油壺などの観光資源を拠点に、にぎわいづくりをしていく方策等について、考えをお聞きしたい。

市長 城ヶ島での新たな観光の核づくり事業や小網代の森のオープンといった、過去からある観光資源の見直しや、新たな観光資源の発掘を進め、各観光拠点の特色をアピ

時代に即応した展開を「質問」風致や景観、高さの制限というものは、現状を固定するという役割を持つてしまう。

今議会に風致地区条例が提案されているが、自然共生都市、観光、漁業といった場面で時代に即した対応ができるように、「議会が承認したとき」という特例措置を入れるべきではないか。

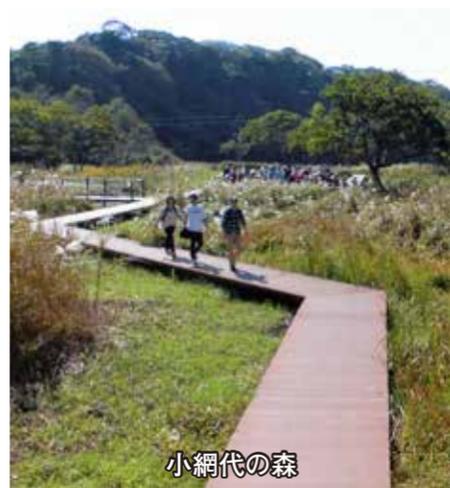
市長 風致に関する政令では、風致地区運用上の対象行為、許可の基準等

については、全国的には同一の基準で行うことが必要とされている。このことから、風致地区条例に許可基準の特例を設けることは難しいと判断している。

市民の健康づくり「質問」国保会計が赤字にならないよう、市民の医療費の増大を抑える方策が議論されている。

市民協働による健康づくりを進めるため、区長会や組長会議に実行計画など

また、市長室を設置してから八月までの五カ月間で、水産関連業者、ゼネコンなど三十の企業・団体と接触をしている。



小網代の森

を提案し、その上で行政決定するという手法を検討してはどうか。

市長 区長会や保健衛生委員さんに投げかけ、地域の方々と協働して問題提起や啓発を進めることが重要だと思ふ。そういった動きがスムーズにできるよう、市として取り組みたい。

魚市場の高度衛生化

二町谷埋立地、三高跡地
みうら市政会 草間 道治

質問 三崎水産物地方卸売市場の高度衛生管理について、①これまでの取り組み状況を伺いたい。

②現在考えられる事業主体と、整備の内容をお聞きしたい。

水産担当部長 ①水産庁、神奈川県、三浦市及び地域の水産関係者で協議会を設置しており、年内に計画案を取りまとめる予定である。

②市が事業主体となつて、マグロ冷凍品の売場の閉鎖化と床の全面抗

組織改編後の取り組み「質問」二町谷埋立地の売却は本市の最重要課題と位置づけられ、四月から新たな組織で取り組まれているが、現在までの状況をお聞きしたい。

市長 本年四月に市長室を設置し、市長室を事務局として重要課題に関する情報共有、意思決定の迅速化を図るため、副市長をトップとした特定事業推進戦略会議を設置した。

また、市長室を設置してから八月までの五カ月間で、水産関連業者、ゼネコンなど三十の企業・団体と接触をしている。

市民交流拠点「質問」三崎高校跡地に関する新たな利活用方針が示された。

その中で、市民交流センターについては、延べ床面積が四百五十平米と、これまでの半分になっていたが、施設の規模として十分なのか。

市長 市民交流センターは、市民活動の担い手の活動状況などを踏まえ



三崎魚市場

常任委員会での請願・陳情の審査結果

9月定例会では、総務経済、都市厚生各常任委員会において、新たに提出された陳情と継続審査中の請願・陳情、あわせて7件を審査しました。

今回、結果が出た陳情は次のとおりです。

そのほかの請願1件と陳情5件は、引き続き審査を行っていきます。

所管委員会	件名	結果
都市厚生	平成27年度における「障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援」についての陳情	了承できるもの

新たに提出された陳情

◎平成二十七年における「重度障害者医療費助成制度継続」についての陳情

趣旨 本陳情は、障害児者・透析者が負担な医療を受けられるよう、平成二十七年予算策定を行うことを求めています。

◎平成二十七年における「障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援」についての陳情

趣旨 本陳情は、平成二十七年予算策定に当たり、障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援を含めた医療・福祉助成施策を行うことを求めています。



議会の活動から

▼小網代の森を視察しました

(九月八日)

平成二十四年から神奈川県が行っていた小網代の森の散策路等の施設整備が完了し、本年七月二十日に一般開放が始まりました。

現在は、自然環境の保全・再生を行いながら環境学習の場としての利活用が進められています。視察では、引橋入口から散策路を歩き、担当職員から説明を受けながら、整備された木道や災害時の避難路、展望テラス、トイレ等の施設を確認し



ました。

また、小網代の森の保全のために行われた取り組みとして、間伐をした様子や、湿原を回復させるために設置した堰の状況などを視察しました。

▼旧三崎中学校跡地利用についての視察を行いました

(九月十九日)

財政問題等特別委員会の審査の中で、旧三崎中学校跡地を視察しました。平成二十六年三月末に閉校となった旧三崎中学校管理棟の一部を市役所の庁舎として暫定使用することになり、十月から、第二分館として業務を開始しています。

視察では、暫定使用に向けて工事中の管理棟や駐車場を見学し、工事内容、進捗状況等について担当職員から説明を受けました。



管理棟の一、二階部分はすでにカウンター等の設備の一部が設置されており、具体的な配置を見ることができました。また、今後利活用が検討される三、四階の現況を確認しました。

本会議における討論

議案第44号 平成25年度三浦市一般会計決算の認定について

反対討論

日本共産党 石橋むつみ

平成二十五年度は、子供の医療費助成においては無料化対象年齢が引き上げられず、小中学校の就学援助制度では、国が生活保護基準を下げている中、三浦市の支給基準は生活保護基準の一・〇倍のままで、今まで助成を受けていた家庭が受けられなくなる例が出ている。また、道路維持補修事業費が大幅に削減されているが、安全な社会環境の維持が危ぶまれることのないように、予算配分を検討すべきである。

厳しい財政運営だが、職員が一丸となって、市民の暮らしを守り、無駄をなくし、公正で民主的な行財政運営を進めるよう求める。

賛成討論

みうら市政会 草間 道治

平成二十五年度は、二町谷埋立地の土地売買契約解除に伴い、厳しい財政運営に迫られた。しかし、徴収強化による市税の増収や、ごみダイエツト大作戦による経費の削減等ができたことは大きな成果である。

今後、二町谷埋立地の売却、三崎高校跡地の利活用等の重要課題解決に向けて新たに組織した市長室の特定事業推進担当の活躍による早期の成果に期待する。

今、議会では議会改革を進め、議員も変わろうとしている。行政もさらなる行財政改革を進め、新たな発想と市民の協力を得た取り組みで今後の行政執行に邁進することを期待する。

賛成討論

公明党 藤田 昇

平成二十五年度は、当初予算で二町谷土地売却収入を見込んでいたが、売買契約が解除となり、その財源対策として基金の活用や市税等の徴収強化、税外収入の確保等に取り組んだ結果、赤字決算を回避することができた。

また、市職員のアイデアやPRで成果を上げているふると納税や、市民の協力のもと行われたごみダイエツト大作戦への積極的な取り組みは、高く評価できる。

厳しい財政状況を乗り越えるため、行財政改革のさらなる取り組みが求められる。二町谷埋立地への企業誘致を初めとする課題が山積しているが、市民生活の安心・安全と生活の向上が図られる市政運営を期待する。

議会基本条例 条文の紹介(その3)

〇三浦市議会基本条例

平成26年4月1日施行

第3章 議会活動及び議員活動

(議長の役割)

- 第9条 議長は、議会を代表し、中立かつ公正に職務を遂行するとともに、議場の秩序を保持し、議事を整理する等、会議の円滑な運営及び進行に努めるものとする。
- 2 議長は、会派間の連絡又は調整の場として、各会派の代表者で構成する各派代表者会議を開催するものとする。
- 3 議長は、広く議員から意見を求める等、必要があると認めるときは、全議員により構成する全員協議会を開催するものとする。

第4章 議会と行政

(議会と市長等の関係等)

- 第10条 議会の審議は、二元代表制の下に行われることを踏まえ、常に議員と市長その他の執行機関及びその補助機関(以下「市長等」という。)との緊張関係の保持の下で行われなければならない。
- 2 会議における質疑及び質問は、広く市政上の論点及び争点を明確にするために、対面による一問一答の方式により行うことができるものとする。
- 3 市長は、議員の質問に対し、議長の許可を得て反問することができるものとする。
- 4 議会は、市長等が提案する政策、計画、施策、事業等(以下「政策等」という。)の進捗状況、政策課題に係る市内の状況等を把握するため、市長等に対し、必要な資料の提供を求めることができるものとする。この場合において、市長等は、速やかに対応するよう努めるものとする。

(条例による議決事件)

- 第11条 議会と市長等が共に市民に対する責任を果たし、計画性及び透明性の高い市政運営に資するため、市長は、市の政策及び施策の基本的な方向を定める構想、計画、指針その他これらに類するものを策定し、又は変更する(基本的な事項に係る部分に限る。)に当たっては、地方自治法第96条第2項の規定に基づき議会の議決を経るものとする。ただし、市長等の内部管理に係る構想等については、この限りでない。

(市長等による政策形成過程の説明等)

- 第12条 議会は、市長等が提案する政策等について、その精度をより高めるとともに市民の理解を得るため、市長等に対し、次に掲げる事項について説明に努めるよう求めるものとする。
- (1)~(6) (要約) 政策等の背景、提案の経緯、市民参加手続、市の基本構想及び基本計画との整合性、将来に対する展望と影響、財源措置
- 2 議会は、前項の市長等から提案された政策等を審議するに当たっては、その形成過程及び執行過程における課題等を明らかにし、その執行後に行われる政策評価に資するよう努めるものとする。
- 3 議会は、予算を定める議案及び決算の認定を求める議案を審議するに当たっては、市長等に対し、当該議案に係る分かりやすい説明資料の作成とその提供に努めるよう求めるものとする。

(前号 第3章第8条から続く)

★第9条第1項~第3項……議長は、三浦市議会の代表として、会議の運営等の職務を行います。また、円滑な議会運営等を図るため各派代表者会議や全員協議会を主宰し、会派間の調整や議員の意見の集約を行います。

★第4章では、三浦市議会と行政(市長等)との関係について定めています。また、会議における市長等との議論については、新たな手法を取り入れることで、より充実した議論が行えるようにしました。

★第10条第2項……本会議での議案質疑や一般質問を行う際に、今までの「一括質問・一括答弁」方式(複数の項目をまとめて質問し、まとめて答弁を受ける)に加えて、「一問一答」方式(1つの質問に対して1つの答弁を繰り返す)を行えるようにしました。

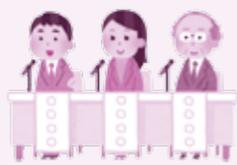
★第10条第3項……市長の反問範囲は、議員がした質問の内容確認までとしています。

★第11条……本条に基づいて、「三浦市総合計画の基本構想及び基本計画」と「三浦市都市計画マスタープラン」を議会の議決事件とすることを三浦市議会基本条例運用基準で定めました。

★第12条第1項、第2項……議会は、市が提案する政策等について、市に詳細な説明を求め、審議を行うことで、政策等の精度や効果を高めるとともに、市民の皆さんにご理解いただけるように努めます。

本条例第3条第6項に基づいて、初めての議会報告会を市内3地区で開催しました。(1面に写真掲載)

この結果は、三浦市議会のウェブサイト及び次号の「三浦市議会だより」で報告します。



多くの皆様のご参加、ありがとうございました!

議会を傍聴しませんか

平成26年第4回定例会は、次の日程により開かれる予定です。

月日	曜日	会議名等
12月2日	火	招集告示
4日	木	議会運営委員会(日程・審議方法等決定)
9日	火	本会議(一般質問)
10日	水	本会議(一般質問)
11日	木	本会議(一般質問)
12日	金	総務経済常任委員会
15日	月	都市厚生常任委員会
17日	水	財政問題等特別委員会
19日	金	本会議(委員長報告・採決)

※請願・陳情の提出期限は12月3日(水)です。

- ◆三浦市議会の本会議及び委員会は公開されていますので、自由に傍聴することができます。
傍聴を希望する方は、市役所本館4階の受付で、住所、氏名、年齢を記入してください。
- ◆お問い合わせは議会事務局へ
電話 046-882-1111 内線462・463



山田玲子氏
公平委員会委員
松尾恒廣氏
教育委員会委員

定例会後に任期満了を迎える委員を任命・選任するための議案二件が市長より提出され、いずれも原案のとおり同意することに決しました。

人事

選挙

三浦市選挙管理委員及び同補充員の任期が十月二十八日をもって満了するため、本会議において選挙を行い、次の方々が当選されました。

選挙管理委員
野田 俊二氏
古屋野 敬子氏
星野 雄氏
石橋 伸一氏

同補充員
長島 徹氏
大隈 多恵子氏
笠倉 正弘氏
大井 章一氏

三浦市風致地区条例の修正案

今定例会の最終日に小林直樹議員ほか二名から、議案第三十七号三浦市風致地区条例に対する修正案が提出されました。

修正案の内容は、風致地区内での行為について、より規制の強化を図ろうとするもので、許可を要しない行為の要件に、建物の建ぺい率や壁面後退距離に関する基準を加えるものです。

本会議では、小林直樹議員の提案説明の後、採決を行い、賛成少数で否決しました。

本会議での議案等の審議結果

〈全員賛成で議決した議案〉

【議案】

- | | |
|---|-----------------------------------|
| 第39号 三浦市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例 | 第51号 平成25年度三浦市病院事業会計決算の認定について |
| 第40号 三浦市営住宅条例の一部を改正する条例 | 第52号 平成25年度三浦市水道事業会計決算の認定について |
| 第41号 三浦市福社会館条例を廃止する条例 | 第53号 平成26年度三浦市一般会計補正予算(第2号) |
| 第43号 字の区域の変更について | 第54号 平成26年度三浦市介護保険事業特別会計補正予算(第1号) |
| 第45号 平成25年度三浦市国民健康保険事業特別会計決算の認定について | 第55号 財産の無償譲渡について |
| 第47号 平成25年度三浦市介護保険事業特別会計決算の認定について | 第56号 平成26年度三浦市一般会計補正予算(第3号) |
| 第48号 平成25年度三浦市市場事業特別会計決算の認定について | 第57号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて |
| 第49号 平成25年度三浦市公共下水道事業特別会計決算の認定について | 第58号 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて |
| 第50号 平成25年度三浦市第三セクター等改革推進債償還事業特別会計決算の認定について | |

〈賛否が分かれた議案〉 ○賛成 ●反対

番号	件名	審議結果	みうら市政会							フォーラムみうら				日本共産党			公明党	
			石川巧	岩野匡史	神田真弓	出口真琴	草間道治	石原正宣	中谷博厚	寺田一樹	出口正雄	松原敬司	北川年一	石橋むつみ	立本真須美	小林直樹	藤田昇	
【議案】 第35号	三浦市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	
第36号	三浦市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	
第37号	三浦市風致地区条例	原案可決	○	※議長は表決に加わらない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	
	三浦市風致地区条例に対する修正案	否決	●		●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	
第38号	三浦市市税条例の一部を改正する条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○
第42号	三浦市保育の実施に関する条例を廃止する条例	原案可決	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○
第44号	平成25年度三浦市一般会計決算の認定について	原案認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○
第46号	平成25年度三浦市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	原案認定	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○